

としまベンチプロジェクト



こんなまちをみなさんにつくりたい

☆いつまでも自分の足で歩けるまち

長い道のりを歩くのが難しい高齢者なども、ベンチを一里塚のようにして休むことができると、自分の足で歩ける範囲が広がります。高齢者だけでなく、ベビーカーを押す子育て世代など、みんなに優しいまちになります。



☆でかけたくなるまち

休む場所があることで、まちに人が増え、自然とコミュニケーションも広がります。

更に地域の防犯や見守りなどの効果も期待できます。

☆つながりのあるまち

地域の住民や関係機関、お店、企業、行政等が協力してベンチを設置することで、

つながり深まり、誰もが住みやすいまちになります。



プロジェクトの参加特典

☆ステッカーを進呈します。

☆ステッカーを貼ったベンチは保険対象となります。



プロジェクトの詳細は裏面をご覧ください



みなさんもプロジェクトに参加してみませんか？

興味のある方は下記までご連絡ください☺

今あるベンチを誰でも使えるベンチに

空いている時間帯の**お店の待合用**、
個人利用で置いてあるベンチに気軽に
座ってほしい。



ステッカーをお渡しします！

新たにベンチを置きたい

○自宅の敷地などにベンチを置いて、
地域の人にも使ってもらいたい。

○住んでいる地域にベンチがあると良いのだけど・・・。



一緒に考えます！下記までご相談ください



☆ **ベンチの維持や管理は設置者をお願いしています** ☆

豊島区生活支援体制整備事業(発行：豊島区高齢者の生活支援推進員)

【問い合わせ先】

豊島区民社会福祉協議会 地域相談支援課

〒170-0013 豊島区東池袋1-39-2 豊島区役所東池袋分庁舎3階

電話 03-3981-4392 メール csw_seikatsu@a.toshima.ne.jp

2019年10月号

生活支援体制整備事業

としま

まち

つながる地域づくり(つなまち)通信

生活支援コーディネーター通信

発行: 豊島区民社会福祉協議会 地域相談支援課

〒170-0013 豊島区東池袋 1-39-2 豊島区役所東池袋分庁舎 3階

電話 03-3981-4392 E-Mail csw_seikatsu@a.toshima.ne.jp



9月24日(火) 第2回 地域のささえあいの仕組みづくり協議会 を開催

高齢者等の生活支援体制整備に向けて、情報発信とベンチを置く活動をどのようにすすめていくか、具体的な話し合いをしました。

委員は、民生委員・児童委員や高齢者クラブ、商店会、金融機関、区民ひろば、銭湯組合、福祉専門学校、介護事業者などに所属する11名です。



取り組みやノウハウの共有ができるような発信を地域に向けてできればよい

地域の課題を解決することにつながるとよい

協議会として情報発信をどのように行うか

受け手が受け取りやすい媒体が多様化している。紙媒体も必要で、広報としまなどはよい。としまテレビも高齢者がよくみる。全戸に行き渡るツールがあるとよい



地域のささえあいの仕組みづくり協議会の委員が、地域や仕事で実践している事例を紹介し、地域で生かしてもらう

商店会の事例: 街灯をLEDにして捻出したお金で、空き店舗を高齢者の集まりや会議に使っている

金融機関の事例: 窓口でのトラブル(認知症高齢者の通帳紛失等)の対応策を、公的機関と議論し解決策につなげた

銭湯の事例: 地域活性化のためのイベントや情報発信、障がい者施設への清掃依頼(就労の場の提供)等をしている

街にベンチを置く活動をどうすすめるか

街で植栽に座っている人、電柱につかまって休んでいる人をよく見かける。坂道も高齢者にはきつい

ベンチを置く目的をはっきりすることが大事。高齢者が自分の足で出かける、(例えば)500m歩くために必要であるということ。小学校圏域なら高齢者も出かけようと思う

ベンチを置く場所の提供・ベンチの制作・資金提供など、いろいろな人や団体の協力で一緒にやるのがよい

日本福祉教育専門学校の授業で学生が街を歩いてベンチ調査をする案が出ている。学生と一緒に地域の高齢者にも歩いてもらうといい。学生も、要介護者でなく、元気な高齢者のことを理解するきっかけになる

区内全域でやるのではなく、まずはモデル地区でやってみるのがいい

「出かけた」「出かけてほしい」ルートを考えて設置する

- ・病院周辺コース
- ・お買い物コース
- ・お花見コースなど



2グループに分かれて話し合ったあと、全体で内容を共有しました。街にベンチを置く活動を、地域の方々と共働するプロジェクトチームをつくり実施していくことを確認しました

ふくろうの杜高齢者総合相談センターの地区懇談会に参加しました

令和元年 10月11日(金)

民生委員・児童委員、ケアマネジャーを中心に、区民ひろば(高田・南池袋・目白)などの「場」の関係者、関係機関などが集まり、情報交換、意見交換の場をもちました。

区民ひろば事業の紹介や、高田介護予防センターのとしまる体操の話、地域密着型の多目的スペース「ほっこりぷらす」などの紹介がありました。

【高齢者が集っている場/集うアイデアについて意見交換】

- ・町会会館、コンビニのイトインコーナー、接骨院などに集まっている。
- ・遠くまで行けない高齢者が集える場が身近にあるとよい
- ・区民ひろばでは、様々な事業・子どもとの交流もやっていることがわかった

民生委員、ケアマネ等の皆さんが地域情報を交換し、この地域にたくさんの「場」があることを実感できました。今後の連携につながる会だと感じました

ベンチ情報を募集

「地域のおもしろいベンチ」や「助かるベンチ」などベンチ情報を募集します。紙面1面の連絡先にお知らせください!



としま

ま ち

2019年度 年末年始号

つながる地域づくり(つなまち)通信

生活支援コーディネーター通信

豊島区生活支援体制整備事業

としまベンチプロジェクトとは？

高齢者などが安心して外出できる環境づくりに加え、ベンチを置くことでそこに小さなコミュニティができ、防犯にもつながる。このような議論と検討を「地域のささえあいの仕組みづくり協議会」で行うなかで「としまベンチプロジェクト」が生まれました。

高田地域の民生児童委員や町会関係者の協力で、日本福祉教育専門学校の学生、関係機関などが地図を片手にまち点検をし、地域の特徴や課題を知るところから始めました。また、まち歩きを振り返るなかで、地域に合わせてどんなベンチがあるといいか、必要かを具体的に意見交換しました。

今後ベンチの設置を目標に、住民・学生・社協など関係機関が地域について共に考え、つながりを深めていくプロセスを大切にしながらプロジェクトをすすめていきます。



第2回 プロジェクト会議参加者

地域のささえあいの仕組みづくり協議会委員
岡田委員（高田地区民生児童委員協議会会長）
宮里委員（日本福祉教育専門学校教員）
北川委員（ワーカーズコープ）
山田委員（シルバー人材センター）

ふくろうの杜高齢者総合相談センター見守り支援事業担当

深田さん 永井さん

豊島区民社協 大竹課長

C S W岸波・野口 生活支援C o 松里

10/18

第1回ベンチプロジェクト会議

地域の民生委員・児童委員など
地域住民が協力し、日本福祉教育専門学校の授業でまち歩きができるといいね！

11/15

第2回ベンチプロジェクト会議

この地域がどんな地域なのか、
住民、学生、福祉関係者が
共に考えよう。

チェックするポイントは、公園・
トイレ・買い物する場所・病院・
そしてベンチ！

11/7

高田地区民生児童委員会

高南小学校の班会議

ベンチプロジェクトについて説明。

この地域の特徴

文京区と新宿区に隣接している

神田川沿いの桜がきれい

急坂が多く移動がたいへん

交通機関を乗り継いで買い物に行く高齢者が多い

川沿いは土地が低く水害が心配

町会に加入している協力的な企業が多い

などがわかりました

民生児童委員の皆さんが、町会ごとで案内役として
まち歩きに協力してくれることになりました



12/9 高田1～3丁目まち歩き



全体オリエンテーション

タイムスケジュール

9:15 区民ひろば高南第一集合
ベンチプロジェクト説明と全体オリエンテーション

9:30 グループごとの作戦会議

自己紹介・役割分担など

9:45 まち歩きスタート

地図とチェックシートをもって出発

10:55 区民ひろば高南第一に集合

— 休憩 —

11:05 グループでの振り返り

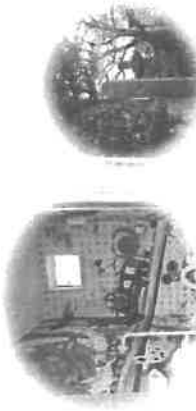
気づいたことやベンチについて話し合おう

11:45 全体で共有

グループごとに発表・アンケート

12:00 解散

グループごとの作戦会議



公園のアートトイレや「ベンチがあるといいな～」と思う場所などもチェック



公園のアートトイレ



町会長・民生委員で
さんたちの案内で
まち歩き。
この地域は道路が
狭く交通量が多い。
買い物する場所も
遠い...など地域の
実情を知る機会に
なった



グループで振り返り

79名が区民ひろば高南第一に集結

全体で発表

まち歩きは、地元町会長・民生委員の皆さんによる案内で、日本福祉教育専門学校の学生や関係機関が参加しました。

グループごとにでルートを確認ののち、地域ごとに「ベンチ」「トイレ」「公園」「医療機関」「買い物できるお店」をして「ベンチがある」というところ」を地図上にチェックしながら歩きました。

1時間ほど歩いてもどおり、グループで話し合い。「この地域は急な坂があるが、歩行人は途中植え込みなどに座っている。高齢者は坂を歩くのは大変」など地域事を実感できました。参加者には外国人学生も多く、日本の寒い冬に震えながら「良かったけど楽しかった」との声もあがりました。

今後、高田地区に必要なベンチはどんなベンチか、**どうすれば高齢者などが外出しやすくなり、つながりが生まれ孤立を防げるのか**、地域住民や関係機関の方々とともに知恵を絞って考え、実現していければと思います。

アンケート結果 アンケート総数63枚

今後ベンチプロジェクトに「ぜひ参加したい」「都合が合えば参加したい」と答えた人が54名(89%)でした。

感想

ベンチプロジェクトを通して利用者さんが外に出かけるときの困難や気持ちがわかりました。

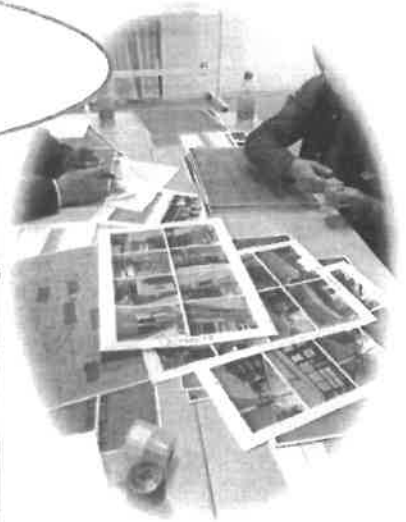
街歩き、ベンチプロジェクトも素晴らしいが、それ以上に多様な地域の関係者の方々とふれあうことで多様な「福祉観」を感じることが出来た。こういった「地域福祉」の実践、取り組みがどんどん盛り上がり、広がる

民生委員と務めるうえで地域を詳しく知ることが出来、学生さんの視点を含めた発見があった。一緒に歩いた学生さんありがとうございました。

介護士の視点で改めて町を見

12/16 第3回ベンチプロジェクト会議

民生児童委員、町会長、高齢者総合相談センター・
池袋敬心苑・高齢者福祉課職員、
社協CSWなどによるまち歩きの振り返り



町会ごとに集まり、結果を検証したところ「お蕎麦屋さんや神社にあるベンチを、誰でも使えるよう協力してもらえないか」「地域に協力的な企業や社員寮があるから、その敷地に置かせてもらえるのではないか」「このクリニックの先生をよく知っているが声をかけてみようか」など、**住民ならではの具体的な情報**が次々でできました。

「**ベンチMap**をつくって高齢者に配布・PRすれば**行動範囲が広がる**」「**神田川沿いの桜がみられるコース**があればよい」など意見も広がりました。

今後、より具体的な動きに向けて、話し合いをすすめることになります。

これからのこと

高田地域に必要なベンチはどんなベンチでしょう。狭い道沿いはサイズや形などオーダーメイドのものが必要になるかもしれません。「うちに置いていいよ」という場所の提供や「作るなら道具を貸すよ」など物品の提供にご協力いただけるのもありがたいです。

費用面や物品の寄付、参加・協力者、団体、企業などを募集します！

こぼれ話

民生児童委員さんとの打ち合わせで出てきた話です。台風19号が上陸した時のこと。

この地域は、以前神田川が氾濫し、水害に見舞われました。その記憶がある一人暮らしの高齢者が、民生委員宅に助けを求めてきたそうです。

風水害時は近くの「高南小学校」ではなく「目白小学校」が避難所になっていることがわかりました。歩行が不安定な方が、急坂を上り目白小学校まで避難することは困難です。結果として風雨の中避難ではなく自宅待機となりましたが、地震だけでなく水害時の避難の課題も共有しました。

まち 地域で見かけた



※今回のベンチは
区外・都外・海外



海外（チェコ）の公園
にはこんなベンチが



手形がかわいいベンチ



奉仕団体寄付のベンチ

問合せ先：豊島区民社会福祉協議会地域相談支援課

〒170-0013 豊島区東池袋1-39-2 豊島区役所東池袋分庁舎3階
電話 03-3981-4392 E-Mail csw_seikatsu@a.toshima.ne.jp
生活支援コーディネーター



豊島区民社会福祉協議会
ふくじい ふくみん

としま

まち

豊島区生活支援体制整備事業
第7号（2020年9月）

つながる地域づくり(つなまち)通信

令和2年度第1回地域のささえあいの仕組みづくり協議会を開催

委員は、民生委員・児童委員や高齢者クラブ、商店会、金融機関、区民ひろば、銭湯組合、福祉専門学校、介護事業者などからなる11名です。

高齢者等の生活支援体制整備に向けて意見交換し、今年度取り組みたいこと、としまベンチプロジェクトをどのようにすすめていくかなどについて話し合いました。

今年度のささえあい協議会で取り組みたいこと

・集まることやイベントをするのが難しく、高齢者のフレイル（虚弱）につながっている。コロナ渦でどう活動するかが重要。

・これからは、実際に集まるサロン等の活動と、会わなくてもつながれるような活動の両方をすすめることが大切。例えばLINE（ライン）で安否確認グループをつくる、スマホの勉強会やインターネットが使える環境を整備する等に取り組んでいく必要がある。

・一人暮らしで交流がない高齢者でもつながりがもてる大人食堂（食）は重要。大人だけでなく子どもも一緒に交流すればよい。ボランティア主体のみでなく、区民ひろば・関係機関等が中心になる取り組みができないか。

・若い層が活躍する団体や民間団体等から逆にテーマをもらい、新しい展開につなげられるとよい。

→今後若い層が活躍する団体や民間団体等との意見交換することなどを検討します。
会わなくてもつながれるような活動（スマホの活用等）をすすめます

グループで話し合い



としまベンチプロジェクトについて

活発な意見交換



・高齢者等が自らの足で歩き、外出する環境をつくり、コミュニケーションが広がることを目的にしている。今後の展開として、**誰もが使える「福祉のベンチ」**であることを発信し、豊島のまちづくり運動として、高田地域のみでなく区内の**他の地域にも広げていきたい**。

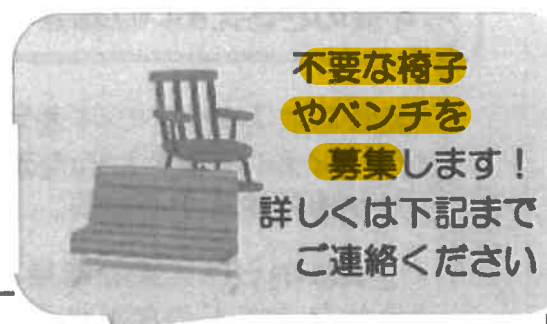
・まち歩き（フィールドワーク）は地域の在り方・住民主体のささえああいがどうあるべ

きかを考える契機になる取り組みだった。防災にも役立つ。

・他区からベンチプロジェクトを見学したいという話があった。プロジェクトのプロセスやノウハウをまとめ、他の区や（社会貢献に関心のある）企業にも配布、情報発信できれば新しい展開につながるのではないかな。

→ ・高田地区に設置したベンチのPR

- ・新たなベンチの設置
- ・これまでの経過のまとめ を現在すすめています



としまベンチプロジェクトとは？

住宅街や道路沿いで、民家の植え込みの端やポールなどに座って休んでいる方を見かけることがあります。不安定な場所に座って、後ろに倒れこんでケガをした高齢者を家に送り届けたという話もよく聞きます。

歩くのがつらく外出を控え引きこもりがちになる高齢者、ちょっと休めると助かる親子連れなどが、ベンチがあると安心して外出できます。

また、ベンチを置くことで、**ちょっとした会話が生まれます。**

としまベンチプロジェクトでは、地域住民・関係機関・企業等が協力してベンチを設置することで、互いにきずなを深め、住みやすいまちづくりをすすめます。



上記の他に、「銭湯への移動手段の課題」や、「区民ひろばで総合的な相談ができるとよい」「認知症サポーターなどがちょっとしたお手伝い（支援）がSNSを使って簡単にできる仕組みができればよい」等の様々な意見交換をすることができました

発行 豊島区生活支援体制整備事業
第1層生活支援コーディネーター

【問い合わせ先】

豊島区民社会福祉協議会 地域相談支援課

〒170-0013 豊島区東池袋1-39-2 豊島区役所東池袋分庁舎3階

電話 03-3981-4392 メール csw_seikatsu@a.toshima.ne.jp



としま

まち

豊島区生活支援体制整備事業
第9号 (2021年1月)

つながる地域づくり(つなまち)通信

新年おめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

去年は、行きたい場所に行けない、集いの場で友人等に会えないなど、新型コロナウイルスの影響で様々な活動が制限されました。そんな中でも地域では、換気や消毒の徹底、人数の分散など工夫をしながらサロン等の取り組みが行われてきました。

としまベンチプロジェクトでも、集まる人数を制限するなどして、できる範囲で活動が続けてきました。現在のベンチプロジェクトの進ちょくをご報告します。



としまベンチプロジェクト@高田では、昨年3月に日本福祉教育専門学校に2台のベンチを設置していました。10/2にプロジェクトメンバーで集まり、赤いペンキで色塗りをしました。(写真上)

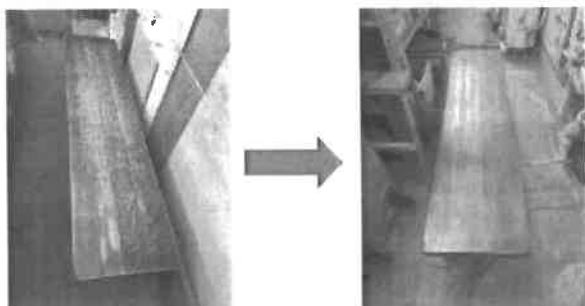
メッセージがあることで、
学校の敷地内にあるベンチに
座りやすくなりました！



11/27には、買い物帰りやお散歩の途中の方が休憩しやすいように、「どなたでもお座りください」というメッセージをベンチに取り付けました。

10/29 には、高田にある「ルネサンス早稲田」(スポーツクラブ)で廃棄することになっていたベンチ8台を譲り受けました。(写真右)

このうち1台は、区民ひろば高南第一で「誰でも使えるベンチ」として使っていただけることになりました。



同じベンチを譲り受けたプロジェクトメンバーの町会長は、ご自宅でヤスリかけと塗装をしたところこのように…。(写真左)

いただいたベンチは順次修繕して使用できるようにしていきたいと考えています。

まち
地域で見かけた



特定非営利活動法人ぶどうの木 事務所前
(豊島区池袋本町 3 丁目)

2、3 年前から椅子を置いており、声掛け不要と書いてあれば気軽に座っていただけたらと思い、そっと見守っています。

商店街の中なので、主に買い物帰りの方や高齢者が利用されています。

ベンチ情報を募集中

「地域のおもしろいベンチ」や「助かるベンチ」などベンチ情報を募集します。下記の連絡先にお知らせください！

発行 豊島区生活支援体制整備事業 第1層生活支援コーディネーター

【問い合わせ先】

豊島区民社会福祉協議会 地域相談支援課 (☎・📧)

〒170-0013 豊島区東池袋1-39-2 豊島区役所東池袋分庁舎3階

電話 03-3981-4392 メール csw_seikatsu@a.toshima.ne.jp